

改善箇所説明図①



注：[] は修正部品を示す。

運転支援装置のAHS※において、制御プログラムが不適切なため、走行用前照灯（ハイビーム）が自動消灯の直後に再点灯する場合、配光制御ができなくなることがある。そのため、警告メッセージが表示し、ハイビームが点灯しなくなるおそれがある。

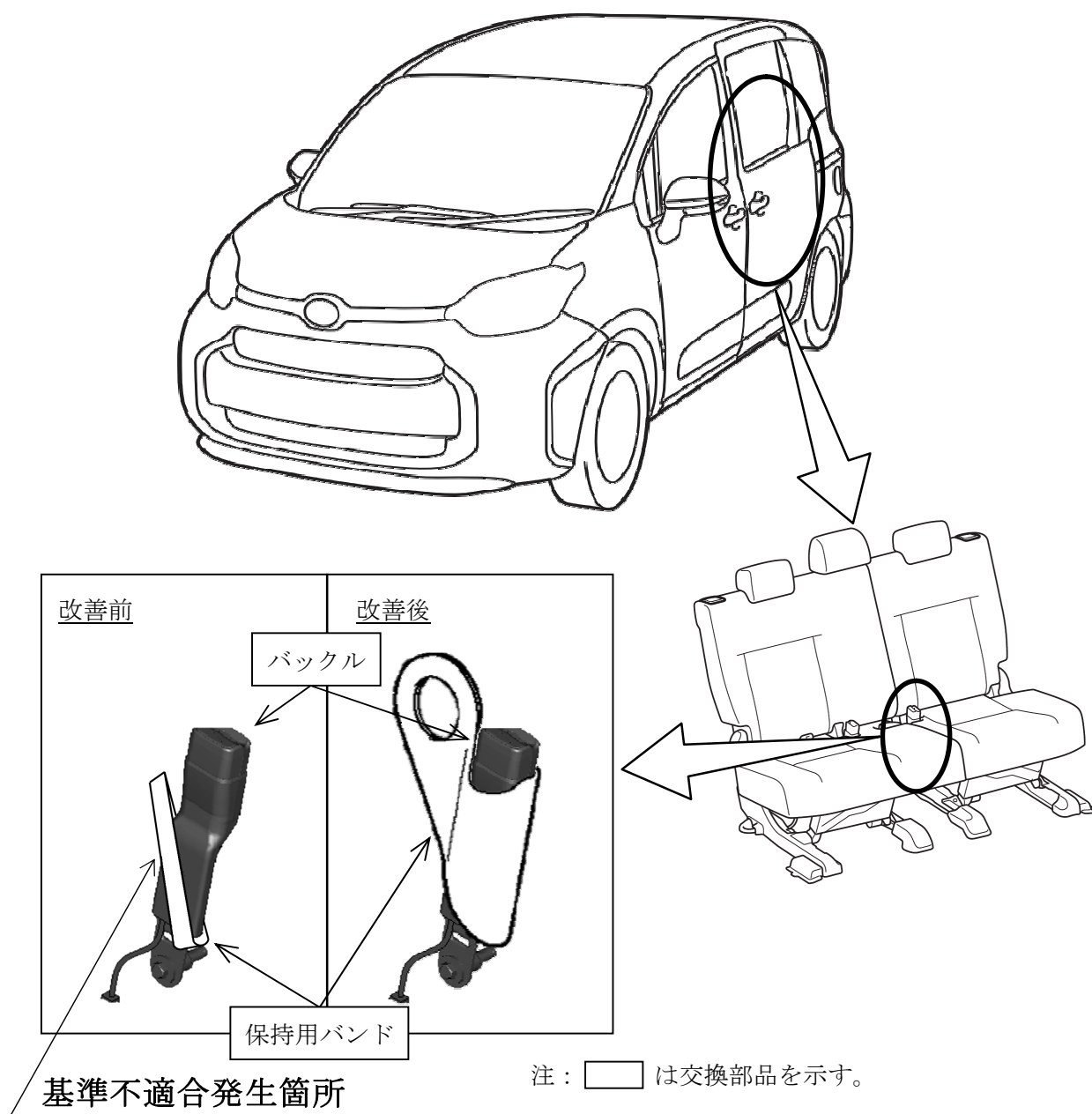
※アダプティブハイビームシステム：周辺環境と運転状況に応じて、ハイビームの配光を制御し、前方視界確保を補助するシステム

改善の内容

全車両、前照灯用制御コンピュータのプログラムを対策仕様に修正する。

識別：改善済車両には、車台番号打刻位置の左側に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



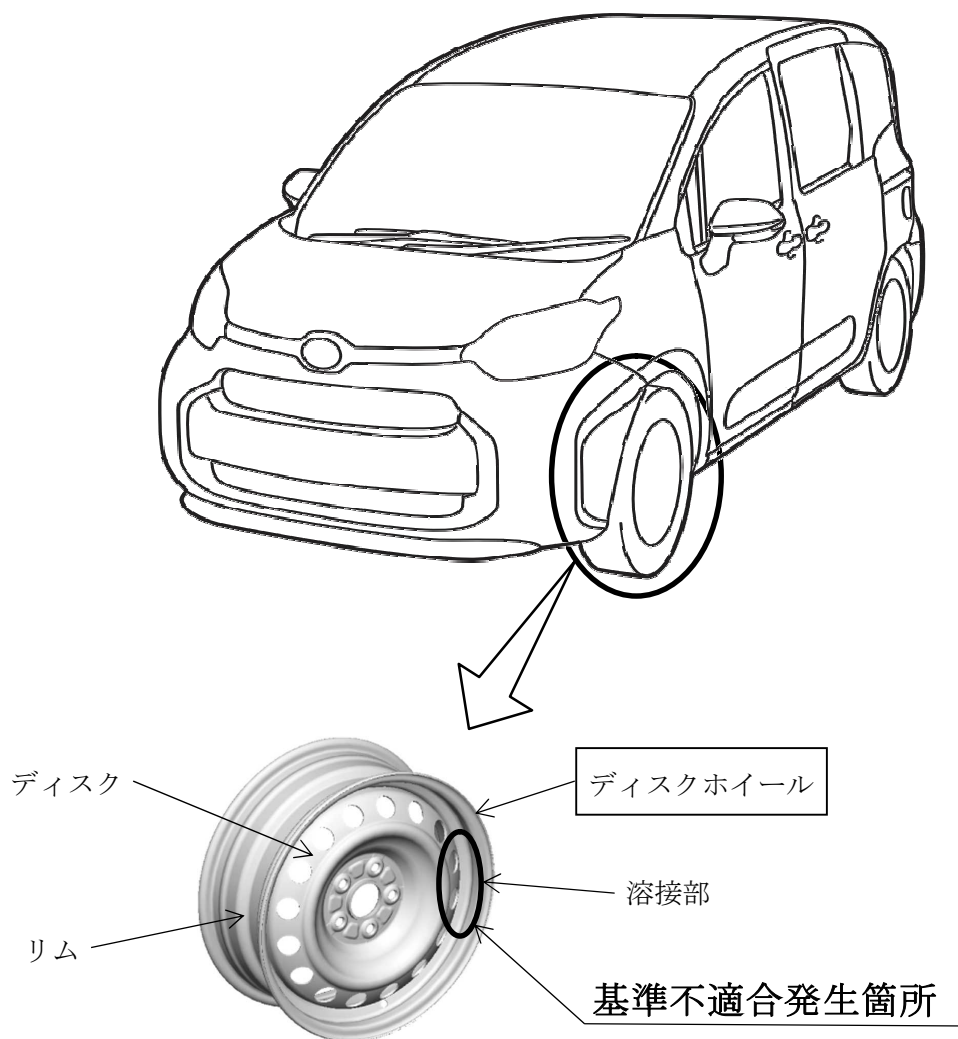
後部左用座席ベルトのバックルにおいて、保持構造が不適切なため、座席内部に落ち込んで座席リクライニングができなくなることがある。その状態でリクライニング操作を行うと、バックルが損傷して当該座席ベルトが正しくロックできず、最悪の場合、走行中にベルトが外れるおそれがある。

改善の内容

全車両、車台番号を確認するとともに、一部車両に対しては、バックル取付部の保持用バンドを点検し、対象となる場合は当該バンドを対策品に、バックルを新品に交換する。

識別：改善済車両には、車台番号打刻位置の左側に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



注：□ は交換部品を示す。

スチール製ディスクホイールにおいて、プレス設備の管理が不適切なため、ディスクが形状不良となり、リムとの溶接強度が不足しているものがある。そのため、溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、ディスクホイールが破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、ディスクホイールの製造番号を点検し、該当する場合は良品と交換する。

識別：改善済車両には、車台番号打刻位置の左側に黄色ペイントを塗布する。